

久留米市キラリ創生総合戦略の進捗状況について

久留米市では、平成 27 年 10 月に「久留米市キラリ創生総合戦略（総合戦略）」を策定し、総合戦略の事業に着手しました。平成 28 年度は本格的実践開始の年として、推進体制づくりや連携のさらなる強化を図り、施策を実行に移すとともに、国の地方創生加速化交付金や地方創生推進交付金の獲得に努め、効率的で効果的な事業の推進に取り組んできたところです。

総合戦略の推進にあたっては、効果的な事業推進のため「数値目標や重要業績評価指標（KPI）」を設定し、それらを基に、行政内部だけではなく、市議会や外部検証組織から幅広くご意見を伺い、必要に応じて戦略の見直しを行うこととしています。

この度、平成 28 年度の人口動向や戦略に掲げる取り組みの進捗状況を踏まえて、行政内部の検証と評価を行いましたので、その結果を報告し幅広くご意見を伺うものです。

1 久留米市の人口動向（平成 28 年度）…別紙①

平成 28 年度末の住民基本台帳による久留米市の人口は 306,211 人で、前年度と比較すると 218 人の増加となり、平成 25 年度に 10 年ぶりに増加に転じて以降、4 年連続の増加となりました。

（単位：人）

年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
人口	305,257	304,989	304,785	303,721	303,233	302,964	302,567	302,333
増減	△ 123	△ 268	△ 204	△ 1,064	△ 488	△ 269	△ 397	△ 234

年度	H24	H25	H26	H27	H28
人口	304,831	305,214	305,549	305,993	306,211
増減	2,498	383	335	444	218

※住民基本台帳における年度末人口

※H24 年に住民基本台帳法の改正があり、外国人を加算。日本人のみでは前年比△142 人。

2 久留米市キラリ創生総合戦略（平成 28 年度）の評価

久留米市キラリ創生総合戦略に掲げる 5 つの「基本目標」ごとに、平成 28 年度の実績を検証し、総合戦略期間終了時点（平成 31 年度）の目標達成見込みを評価しています。

（１）平成 28 年度の主な取り組みと今後の展開

【基本目標 1】安定した雇用を創出する…別紙②

《平成 28 年度の主な取り組み》

「久留米市産業振興協議会」創設による産学官金連携のオール久留米での取り組みを開始するとともに、販路拡大を図るための電子商取引に係るセミナーや、展示会出

展の際に必要な経費の一部助成などを行いました。

また、福岡県、うきは市と連携した久留米・うきは工業用地整備事業への着手、バイオ産業の振興、拠点化に向けた理化学研究所と地域の大学、企業との連携体制の具体的なプランの作成、就農前の農業技術習得の支援や女性農業者の活躍促進に向けた機器の導入などの支援を開始しました。

さらに、「雇用・就労推進協議会」創設による産学官金労のオール久留米での取り組みを開始するとともに、久留米創業ロケットの開設や、創業支援セミナーの開催などを行いました。

《今後に向けた課題認識》

産学官金労の連携により、企業の成長支援や創業の支援、市内の大学等に通う学生に対する、地元企業で働く魅力の発信等について、取り組みの推進・強化を図ることが必要です。

また、医療の集積を活かし、地域企業を成長させる取り組みの充実を図ること、次世代を担う若い農業者の確保及び育成を図ることが必要です。

《今後の展開》

久留米市産業振興協議会、久留米市雇用・就労推進協議会において、産学官金労の連携による民間主体の取り組みを強化し、企業の成長支援、創業の支援、農業・農業関連産業の振興、観光産業の振興などに向けた効果的な事業展開を図ります。

また、新産業団地の開発による企業誘致や中心市街地等へのオフィス誘致、理化学研究所との連携事業による拠点化に向けた取り組み等を強化していきます。

【基本目標2】久留米市への新しい人の流れをつくる…別紙③

《平成28年度の主な取り組み》

大都市圏からの移住促進に向け、福岡市でのイベント開催やプロモーション動画作成など、久留米を知って感じてもらう取り組みを進めるとともに、移住定住促進センター設置や移住コンシェルジュを配置するなど、希望の暮らしをサポートしていく取り組みを進めました。

また、年間観光客数を増やしていくために、MICE誘致の推進、タイ・バンコクにおけるインバウンド拡大に向けたプロモーション、久留米シティプラザや久留米市美術館での多様な催しの開催などの取り組みを進めました。

《今後に向けた課題認識》

魅力ある移住定住促進イベントの開催とともに、市の魅力の幅広いPRと効果的な情報発信の強化が必要であるとともに、転出超過にある大都市圏や福岡市からの移住者拡大に向けた取り組みや、移住の受け皿の充実が必要です。

さらなる観光誘客を図るため、効果的な情報発信やターゲットを見据えた施策の重点化に取り組んでいくことが必要です。

《今後の展開》

久留米広域連携中枢都市圏で東京に開設するアンテナショップを活用した情報発信や移住相談対応などの取り組みを進めていくとともに、移住希望者の多様な

ニーズに対応する移住の受け皿づくりに取り組んでいきます。

観光地域づくりの舵取り役となる「久留米版DMO」を設置し、マーケティング・マネジメント機能を強化するとともに、耳納北麓グリーンアルカディア創生パッケージをはじめ、豊富な地域資源を活かした観光振興や、久留米シティプラザ・久留米市美術館の最大活用、久留米総合スポーツセンターリニューアルを契機としたスポーツコンベンションの強化に取り組んでいきます。

【基本目標3】若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる…別紙④

《平成28年度の主な取り組み》

結婚から子育て、教育までの不安を軽くし希望の実現を後押しするため、施設整備支援による保育所等の定員拡大や、学童保育の高学年受入開始、中学生の英語力向上や不登校等対応などの取り組みを進めてきました。

《今後に向けた課題認識》

子育て等の希望実現を後押ししていくためには、保育所などの待機児童の解消、妊娠期から子育て期の不安等を解消していくための切れ目のない支援、全国学力・学習状況調査における正答率のさらなる改善が必要です。

《今後の展開》

保育所整備支援に加え保育士確保の取り組みや、(仮称)くるめ親子支援センターの設置、児童・生徒の状況に応じた学習機会の提供、学校・家庭・地域が連携・協働した教育活動の充実などに取り組んでいきます。

【基本目標4】安心な暮らしを守る…別紙⑤

《平成28年度の主な取り組み》

空き家の活用に向けた空き家所有者意向調査、空き家相談会の実施、立地適正化計画の策定、久留米路線バス1日フリー乗車券販売、コミュニティサイクルのサイクルポート増設などに取り組むとともに、健診受診率向上のための受診環境整備・受診勧奨、ドクターカーの本格運行とドッキングポイントの運用開始、街頭防犯カメラへの設置支援、内水ハザードマップの作成・公表などに取り組ましました。

《今後に向けた課題認識》

住みたい・住み続けたいと思っていただくためには、空き家の利活用等の促進や公共交通の利用促進に向けた仕組みづくりが必要です。

また、健康でけがや事故がなく暮らせるようにしていくために、働きざかり世代への効果的な受診勧奨・受診環境整備、救命率の向上、けがや事故・犯罪防止に向けたセーフコミュニティの取り組みの裾野拡大が必要です。

《今後の展開》

空き家活用推進協議会との連携や地域提案型空き家活用の実施、交通結節点機能強化や駅構内の利便性向上のためのバリアフリー化の推進を図ります。また、健診受診環境や受診勧奨のさらなる充実、事故や犯罪の抑止となるキラリ照明灯

の整備、高齢運転者の免許自主返納支援の取り組みを進めていきます。

【基本目標5】広域拠点の役割を果たす…別紙⑥

《平成28年度の主な取り組み》

久留米市の滞在人口を維持していくため、久留米広域連携中枢都市圏ビジョンに基づく計41事業を実施しました。特に、東京都港区新橋にオープンしたアンテナショップの開設に向けた準備を進めてきました。

《今後に向けた課題認識》

圏域全体の経済成長をけん引していくため、産学金官民が一体となった事業の推進が必要です。また、アンテナショップを核に、圏域の知名度向上、圏域への交流人口・移住人口の増加や特産品の販路拡大につなげていくため、アンテナショップの集客力の向上が必要です。

《今後の展開》

本圏域をリードする連携中枢都市として、久留米広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会の開催などにより、連携事業を推進していきます。特に、アンテナショップへの集客に繋げていくために、多様なイベントの実施やSNSを活用したタイムリーな情報発信などの取り組みを進めていきます。

(2) 数値目標による検証・評価

基本目標	数値目標	基準値	H31目標値	H28実績値 (H28目標値)	進捗度	評価 区分
1 安定した雇用を創出する	基準年を上回る年間新規雇用者数を毎年創出する。	16,507人 (H26年度)	基準年を 毎年上回る	17,375人 (16,507人 以上)	○	A
	市内の大学等の新卒者の市内企業への就職率を17%にする。	12.1% (H26年度)	17.0%	11.2% (14.0%)	×	B
2 久留米市への新しい人の流れをつくる	大都市圏への転出超過を550人(H31年度までの5年間の平均)に抑制する。	650人 (H24~26 年度平均)	550人/年 (5年間平均)	467人 (550人)	○	A
	年間観光客を700万人にする。	515万人 (H25年)	700万人	集計中 (600万人)	-	A
3 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	子育てしやすいまちだと思う市民の割合を80%にする。	70.8% (H26年度)	80.0%	78.1% (73.0%)	○	A
4 安心な暮らしを守る	住み続けたいと思う市民の割合を80%にする。	75.4% (H26年度)	80.0%	76.4% (77.0%)	×	B
5 広域拠点の役割を果たす	久留米市の滞在人口	平日:485,900人 休日:487,400人 (H26年)	基準値の 滞在人口 を維持	— (平日:485,900人 休日:487,400人)	—	B

○：達成できた（100%）
△：概ね達成できた（70-100%未満）
×：達成できなかった（70%未満）
—：現時点では判断が困難

A：目標を達成できる見込み
B：目標達成には努力を要する
C：目標達成には厳しい状況にある

《検証結果の概要》

- ・「年間新規雇用者数」は、目標値に対し 868 人増加し、目標を達成しました。景況の改善や、産業団地への企業進出が進んだことなどが考えられます。
- ・「市内の大学等の新卒者の市内企業への就職率」は、前年度から 1.7 ポイント下降し、目標を達成することができませんでした。全国的に有効求人倍率が上昇し、大都市圏での就職が増加したことが要因として考えられます。
- ・「大都市圏への転出超過数」は、名古屋圏・大阪圏・福岡市に対しては転出超過数が増加しましたが、東京圏では前年度の転出超過の状況から転入超過に好転し、単年度目標の 550 人を下回り目標を達成しました。
- ・「年間観光客数」は集計中ですが、政策パッケージの取り組み強化や久留米シティプラザ、平成 30 年度供用開始予定の久留米総合スポーツセンターを活かした取り組みを展開し、目標達成を目指します。
- ・「子育てしやすいまちだと思える市民の割合」は、前年度から 0.6 ポイント減少したものの、女性活躍のための各種取り組みや子ども・子育て支援の取り組みなどが評価をいただいたことにより、目標を達成することができました。
- ・「住み続けたいと思える市民の割合」は、目標を達成することはできませんでしたが、安心して暮らすことができるまちづくりのための各取り組みを進めたことにより、実績値は上昇傾向にあります。
- ・「久留米市の滞在人口」につきましては、国の地域経済分析システムの集計方法の変更に伴い、実績値の把握ができなくなりました。今後、基本目標「広域拠点の役割を果たす」に沿った、数値目標の変更の検討を進めます。

(3) 重要業績評価指標 (KPI) による検証・評価

【進捗度】

年度ごとの目標達成状況について検証するものです。

【評価区分】

進捗度を考慮し、目標年度である平成31年度の達成見込みについて評価するものです。

基本目標	○	△	×	－	合計
1 安定した雇用を創出する	13	2	2	4	21
2 久留米市への新しい人の流れをつくる	6	2	1	4	13
3 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	5	－	3	7	15
4 安心な暮らしを守る	6	2	4	5	17
5 広域拠点の役割を果たす	－	－	－	1	1
合計	30	6	10	21	67

基本目標	A	B	C	合計
1 安定した雇用を創出する	16	5	－	21
2 久留米市への新しい人の流れをつくる	13	－	－	13
3 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	9	6	－	15
4 安心な暮らしを守る	7	10	－	17
5 広域拠点の役割を果たす	－	1	－	1
合計	45	22	－	67

○：達成できた（100%）
 △：概ね達成できた（70－100%未満）
 ×：達成できなかった（70%未満）
 －：現時点では判断が困難

A：目標を達成できる見込み
 B：目標達成には努力を要する
 C：目標達成には厳しい状況にある

《検証結果の概要》

総合戦略の2年目であり、未着手のものを含めて21項目が「現時点では判断が困難（一）」ですが、それ以外では、全体の約7割（30項目）が単年度目標を達成することができており、計画1年目に引き続き、2年目の実績においても概ね順調に推移しています。単年度目標未達成の項目のうち、主なものは以下のとおりです。

【基本目標1】

中心市街地等へのオフィス誘致を推進するため、オフィスやコールセンター設置促進のための補助制度を活用したPR活動を行いました。面積等の条件面でマッチングができず、目標を下回る結果となりました。

【基本目標2】

MICE開催支援件数は平成27年度から確実に伸びていますが、久留米シティプラザの本格稼動が8月だったことやスポーツ大会等への支援が少なかったため、目標を達成することはできませんでした。

【基本目標3】

全国学力・学習状況調査の正答率については、小学校は0.6ポイント、中学校は0.3ポイント、平成27年度からそれぞれ改善した結果、小中平均では0.45ポイント改善し、全国平均との差を縮めることができました。

【基本目標4】

空き家活用リフォーム助成事業については、対象エリア等の要件により目標値に至らなかったため、実績を踏まえて制度の見直しを行いました。

【基本目標5】

「久留米市の潜在人口」の実績については、国の地域経済分析システム（リーサス）の集計方法の変更に伴い、実績値の把握ができなくなったことから、進捗度及び評価はできない状況となりました。今後、数値目標変更の検討を進めます。